



2023年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月12日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 澤田秀太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐

TEL 03-5312-6247

四半期報告書提出予定日 2023年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の連結業績(2022年8月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	711	415.3	26		30		31	
2022年7月期第3四半期	138	79.0	124		114		116	

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 32百万円 (%) 2022年7月期第3四半期 117百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年7月期第3四半期	23.53	
2022年7月期第3四半期	88.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	2,321	499	21.4
2022年7月期	2,250	530	23.5

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 496百万円 2022年7月期 529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年7月期		0.00		0.00	0.00
2023年7月期		0.00			
2023年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)

現時点において業績予想を数値で示すことが困難な状況となっているため、引き続き今期の業績予想を未定といたします。合理的な予測が可能となった時点で公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年7月期3Q	1,346,160 株	2022年7月期	1,346,160 株
期末自己株式数	2023年7月期3Q	13,786 株	2022年7月期	13,741 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年7月期3Q	1,332,414 株	2022年7月期3Q	1,322,030 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、日本政府が新型コロナウイルス感染症による入国制限などの水際措置を撤廃し大幅に正常化への舵を切った一方で、ウクライナ問題や、世界的なインフレや円安等による物価高騰により、政治的情勢、経済的情勢の不安定さが継続し、今後の見通しが立てづらい状況となっております。一方で、クルーズ業界においては、3月より日本発着外国船の運航が約3年ぶりに再開し、明るい兆しが見えてきました。

このような状況のもと、当社グループはゴールデンウィークのチャータクルーズの運営、日本発着外国船を中心としたクルーズ旅行の集客、季節ごとの大規模キャンペーンの実施、「国内航空券予約サイト」の開発とローンチ等を行ってまいりました。株式会社エイチ・アイ・エスと株式会社クルーズプラネットとの3社合同で2023年4月29日発「MSC ベリッシマで航く南国薩摩と石垣島・那覇・台湾美ら海クルーズ9日間」の催行を行いました。当社としては初めてのチャータークルーズの実施となりました。8月には、2日発と11日発の2本のチャータクルーズ（同じくMSCベリッシマにて催行予定）の実施を予定しておりまして、その集客に注力してまいりました。また、「ホワイトデー間際予約大特価セール」や「春の大特価セール」等の季節に応じたお得なキャンペーンも引き続き行ってまいりました。これらのキャンペーンの影響もあり、3月においては、月間予約受注額が3月としては過去最高であった2019年3月を越え、同月の過去最高を更新いたしました。システム開発の方では、「国内航空券予約サイト」の開発を中心に行い、ローンチにまで至りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は711,645千円（前年同期比415.3%増）、営業損失は26,857千円（前年同四半期は124,393千円の営業損失）、経常損失は30,907千円（前年同四半期は114,746千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,349千円（前年同四半期は116,793千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて71,076千円増加し、2,321,948千円となりました。これは主に、現金及び預金が88,356千円減少した一方、旅行前払金が112,836千円、未収入金が36,310千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて102,741千円増加し、1,822,867千円となりました。これは主に、長期借入金が174,982千円、1年以内返済長期借入金が59,119千円減少した一方、契約負債が339,016千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて31,664千円減少し、499,081千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が31,349千円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期(通期)の連結業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想を算出することが困難な状況となっているため、2023年7月期の業績予想を一旦未定とさせていただきます。今後の業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,344,726	1,256,370
旅行前払金	303,246	416,082
未収入金	58,700	95,010
未収還付法人税等	314	—
その他	48,497	50,949
流動資産合計	1,755,485	1,818,413
固定資産		
有形固定資産	143,099	140,424
無形固定資産		
のれん	40,297	37,536
その他	70,483	86,411
無形固定資産合計	110,780	123,948
投資その他の資産	237,874	235,799
固定資産合計	491,754	500,171
繰延資産	3,632	3,363
資産合計	2,250,871	2,321,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	309,973	250,854
未払金	25,299	20,570
未払法人税等	2,896	1,841
賞与引当金	—	3,125
契約負債	331,665	670,681
その他	12,450	12,899
流動負債合計	682,284	959,971
固定負債		
長期借入金	1,026,744	851,762
その他	11,096	11,133
固定負債合計	1,037,841	862,896
負債合計	1,720,125	1,822,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	396,545	396,545
資本剰余金	313,045	313,045
利益剰余金	△142,949	△174,298
自己株式	△35,144	△35,280
株主資本合計	531,495	500,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,380	△3,460
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△3,460
新株予約権	1,630	2,531
純資産合計	530,746	499,081
負債純資産合計	2,250,871	2,321,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年8月1日 至2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年8月1日 至2023年4月30日)
売上高	138,112	711,645
売上原価	103,511	513,158
売上総利益	34,601	198,486
販売費及び一般管理費	158,994	225,344
営業損失(△)	△124,393	△26,857
営業外収益		
受取利息	1,586	1,642
為替差益	6,610	1,419
受取配当金	0	0
助成金収入	10,624	36
ポイント収入額	—	1,705
その他	1,431	265
営業外収益合計	20,252	5,068
営業外費用		
支払利息	6,330	5,176
新株予約権発行費償却	991	1,418
投資事業組合運用損	2,362	2,523
投資有価証券償還損	921	—
営業外費用合計	10,606	9,118
経常損失(△)	△114,746	△30,907
特別利益		
投資有価証券売却益	3,459	—
特別利益合計	3,459	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5,161	—
特別損失合計	5,161	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,448	△30,907
法人税等	344	441
四半期純損失(△)	△116,793	△31,349
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,793	△31,349

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純損失(△)	△116,793	△31,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,027	△1,080
その他の包括利益合計	△1,027	△1,080
四半期包括利益	△117,821	△32,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△117,821	△32,429
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

当グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
海外旅行	2,384	500,458
国内旅行	127,363	182,069
その他	8,365	29,116
顧客との取引から生じる収益	138,112	711,645
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	138,112	711,645

(重要な後発事象)

(第三者割当増資)

2023年4月10日開催の取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）に関し、5月1日付で払込手続きが完了いたしました。

本第三者割当増資の概要

- | | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 払込期日 | 2023年5月1日 |
| (2) 発行新株式数 | 当社普通株式49,800株 |
| (3) 発行価額 | 1株当たり2,999円 |
| (4) 発行価額の総額 | 149,350,200円 |
| (5) 資本組入額 | 1株当たり1,499.5円 |
| (6) 資本組入額の総額 | 74,675,100円 |
| (7) 募集又は割当方法 | 第三者割当の方法によります。 |
| (8) 割当先及び株式数 | JPM株式会社 33,300株
23.7株式会社 6,600株
河端伸一郎 3,300株
金成柱 3,300株
澤田秀太 3,300株 |

(9) 資金使途

払込金額の総額149,350,200円から発行諸費用の概算額2,922,700円を差し引いた手取概算額146,427,500円の具体的な使途及び支出予定時期につきましては、以下のとおりであります。

具体的な使途	金額(千円)	支出予定時期
① クルーズの仕入れ費用	117,142	2023年6月～2023年10月
② 人材獲得費用	9,761	2023年5月～2025年3月
③ 予約システム等開発費用	19,523	2023年5月～2026年3月